

高耐久透湿防水ルーフィング ウー トップ ハイムシールド ルーフ 2 SK標準施工要領



ウートップ ハイムシールド ルーフ施工上の留意事項

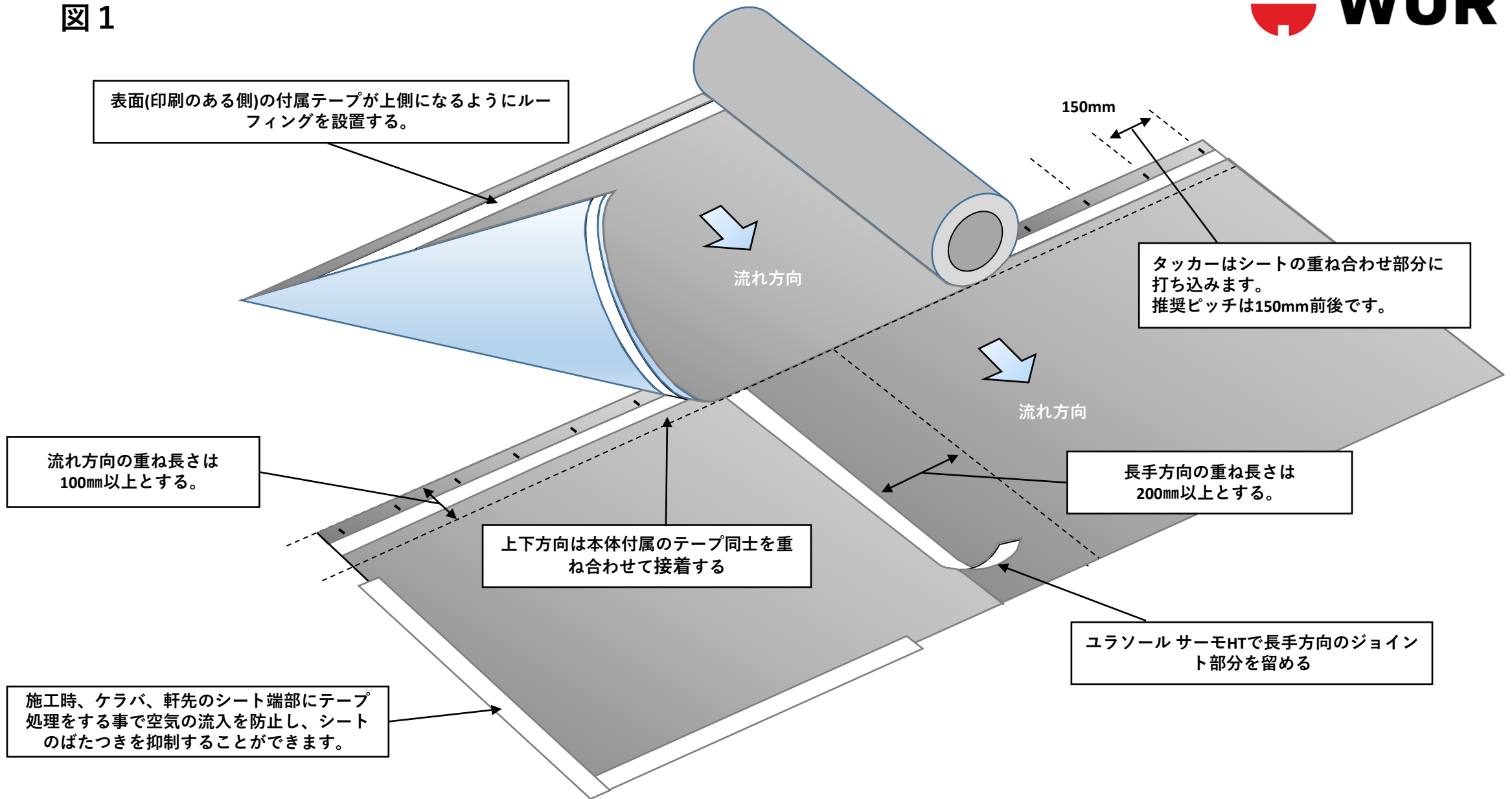
- (1) 原則として2寸勾配以上の屋根での使用推奨です。(2寸未満の勾配屋根でのご使用時はメーカーにお問い合わせください)
- (2) 屋根葺き材とウートップ ハイムシールド ルーフ間で湿気排出が可能となる収まりとしてください。
- (3) 棟換気や小屋裏換気等の、野地合板等の湿気を排出する通気工法を使用してください。
- (4) スレート（コロニアル）及びシングル屋根材のご使用はお控え下さい。
- (5) 防水気密テープはウートップ ハイムシールド ルーフ用高耐久テープ「ユラソール サーモHT」を、
接着剤は「オールインワン接着剤」をご使用ください。
- (6) 野地合板等表面の清掃を必ず行い、突起が無い事、表面が完全に乾燥している事を確認してください。
- (7) ウートップ ハイムシールド ルーフを施工する際に、傷や破れ箇所がないかご確認ください。
- (8) ステープルの打ち損じ（座屈等）は、漏水の原因になるので、専用テープ「ユラソール サーモHT」にて補修してください。
- (9) ステープルはシート重ね部分以外には打たないでください。打った場合は、専用テープ「ユラソール サーモHT」で補修して下さい。
- (10) 栈木の固定等で自動釘打ち機による、金属線で結束された釘（ワイヤネイル）は、釘に残るワイヤがウートップシートを破くので使用しないで下さい。

- (11) 火や高熱物を近づけないでください。
- (12) ウートップ ハイムシールド ルーフ施工後は、速やかに屋根材を施工してください。
- (13) 屋根材の施工がすぐに行われな場合、又は荒天が予想される場合にはブルーシート等で養生してください。
- (14) 強風下等の悪天候時の施工はお避け下さい。
- (15) 防腐、防蟻処理された桟木等は薬剤が完全に乾燥している事を確認してください。

ウートップ ハイムシールド ルーフの補修

穴傷や破れ等の大きさに応じて、専用テープ「ユラソール サーモHT」や、「オールインワン接着剤」を使用して、シートを増し張りして、損傷箇所から雨水が入らないように補修して下さい。

図 1



1. 平部の施工について

ウーテップ ハイムシールド ルーフは桁行き方向に横張りして下さい。

印字側シート端に付属のテープが上側に配置されるように張ってください。（図1参照）

ウーテップ ハイムシールド ルーフの重ね部は、長手方向200mm以上、流れ方向100mm以上とし、シワ、弛みのないよう施工します。

長手方向の継ぎ目は接近しないように乱張りとし、長手方向継ぎ目部分には、専用テープ「ユラソールサーモHT」を貼ります。

施工時に屋根周りのシート端部全体（ケラバ、軒先）にテープを貼る事で空気の流入を防ぎ、シートのバタつきを防止可能です。

2. タッカー打ちについて

タッカーはシートの重ね部分に打ってください。

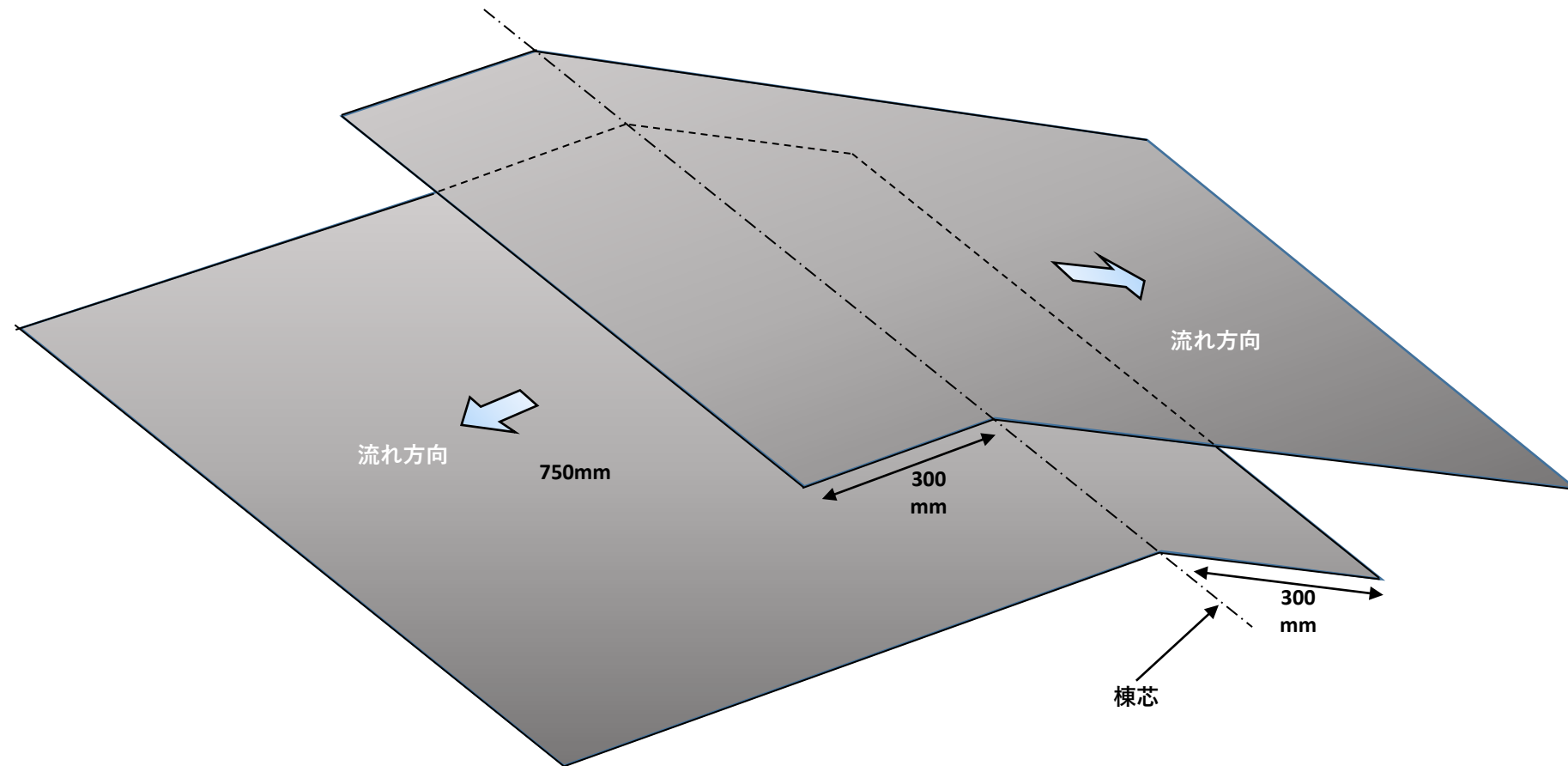
重ね部分以外にタッカーを打った場合は、専用テープ「ユラソールサーモHT」を上から貼ってください。

タッカーはステンレス製を推奨します。

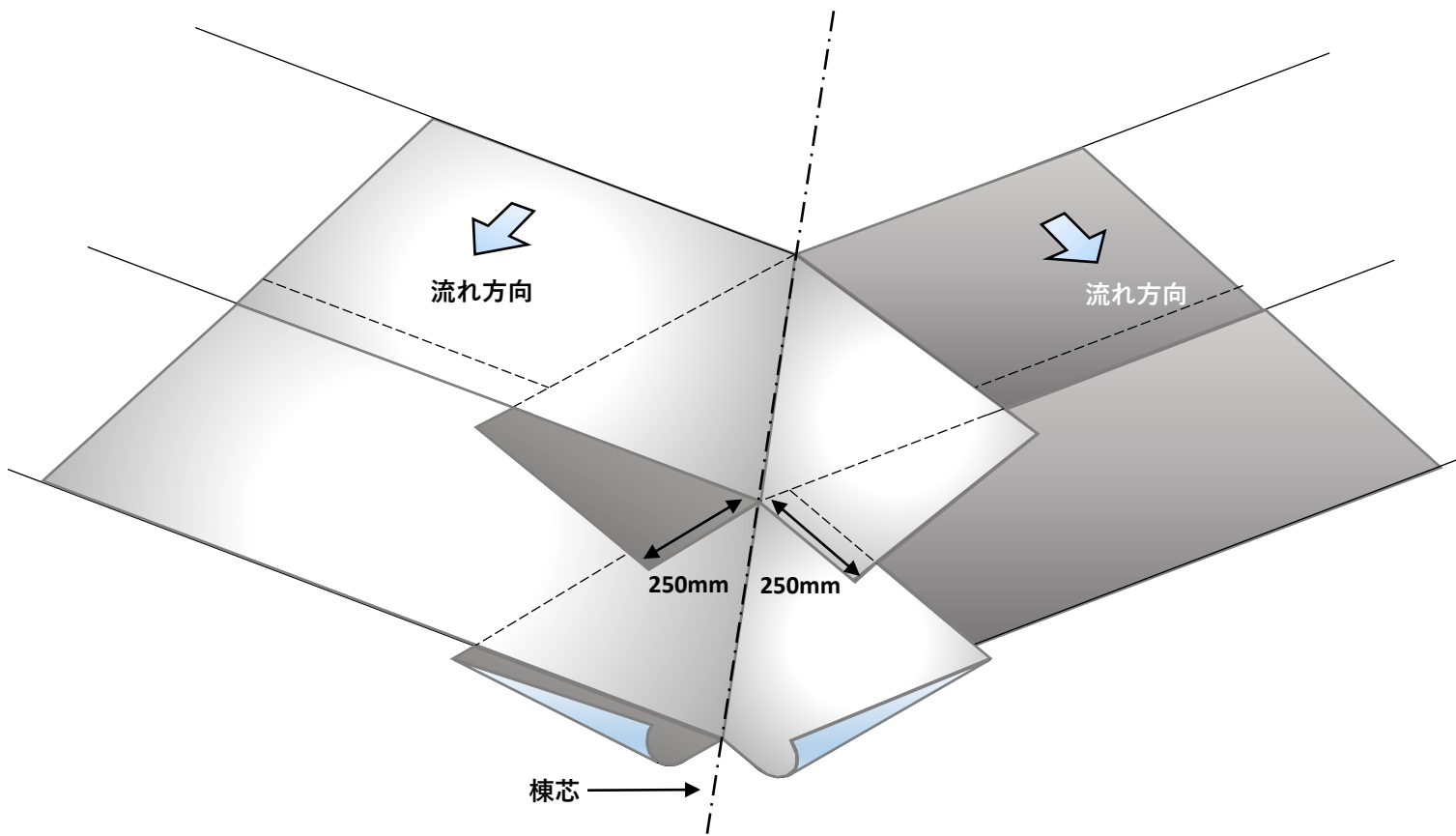
タッカーの打ち込みピッチ目安は、150mmです。

3. 栈木施工について

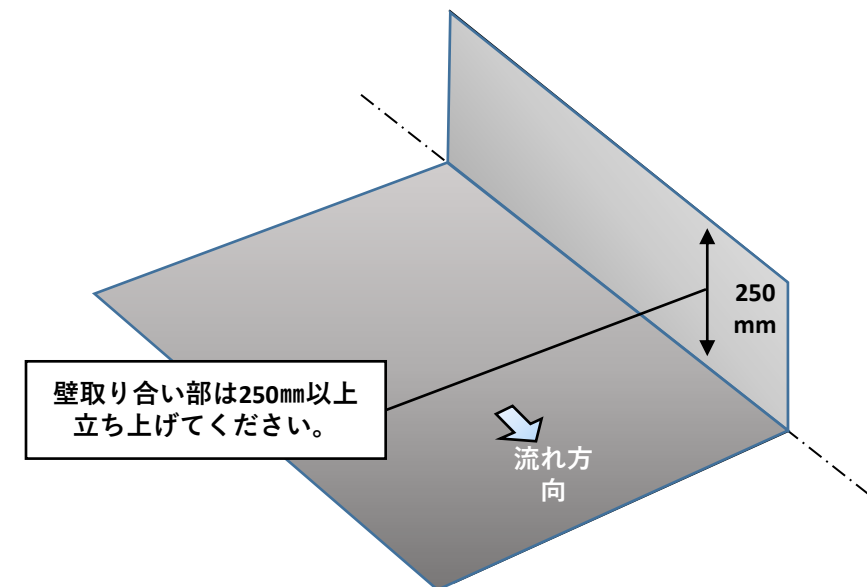
瓦栈木等の施工は、流し栈工法や溝が加工された栈木を使用し、栈木に雨水等が滞留しないようにして下さい。



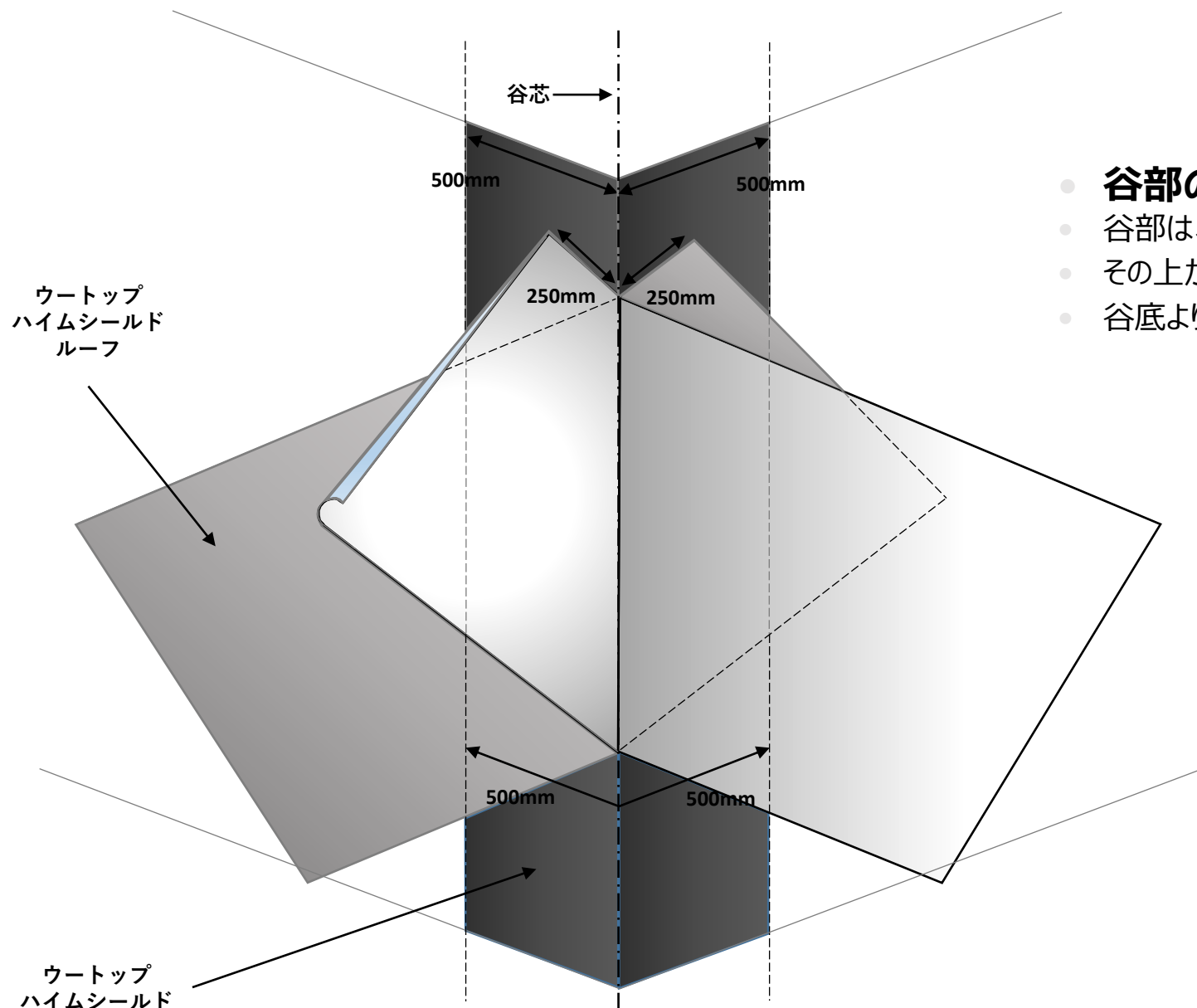
- **棟部の施工について**
- 大棟部においては、300mm以上づつ両側折掛けとします。



- **隅棟部の施工について**
- 隅棟部においては、250mm以上づつ両側折掛けとします。



- **壁取り合い部の施工について**
- ウートップ ハイムシールド ルーフを250mm以上立ち上げて下さい。

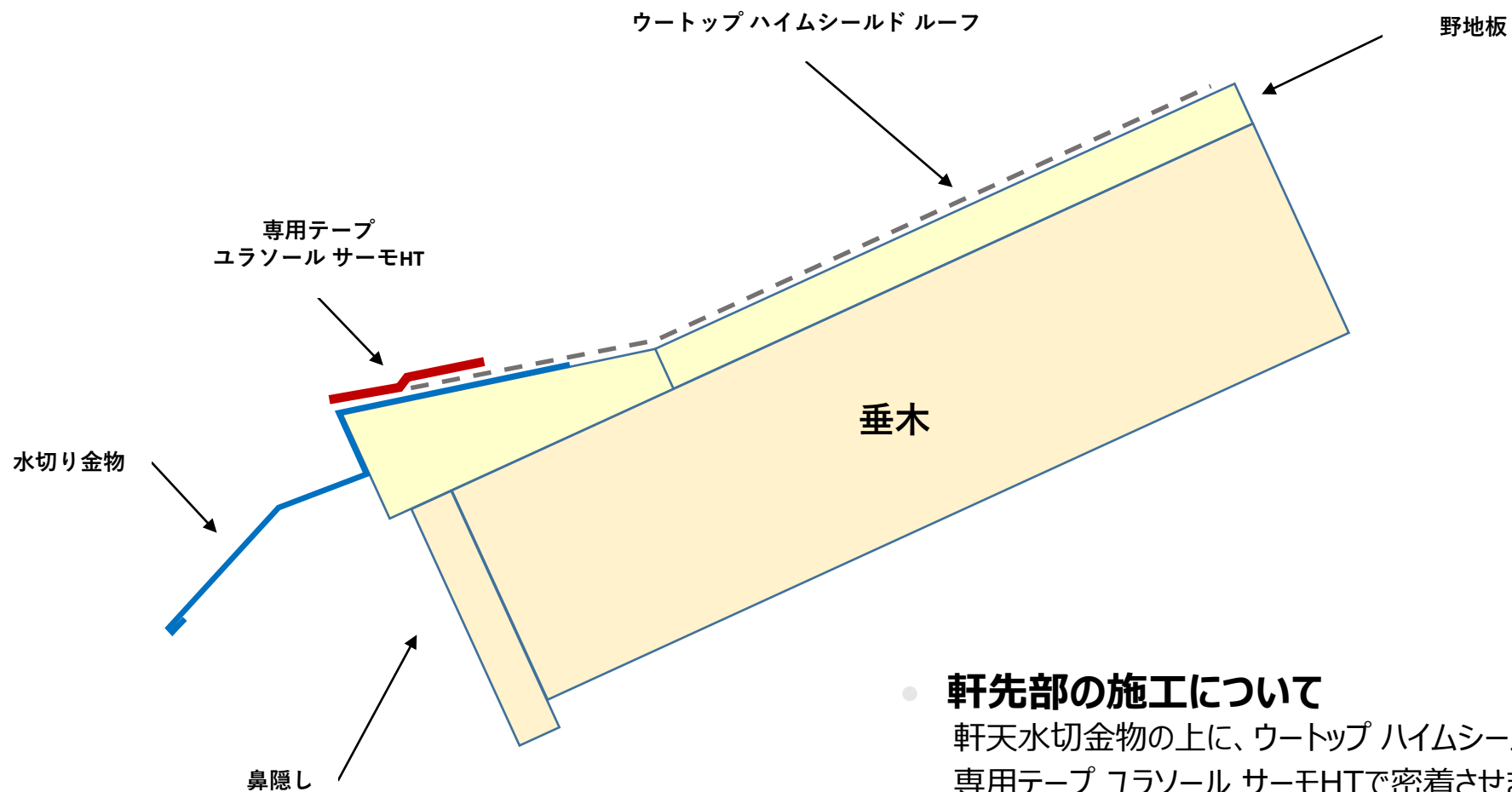


● 谷部の施工について

- 谷部は、予めウートップハイムシールド (幅1000mm)を先貼りし、
- その上からウートップハイムシールド ルーフを左右に重ね合わせながら、
- 谷底より250mm以上伸ばして施工して下さい。



0681000350
ウートップハイムシールド



- **軒先部の施工について**
軒天水切り金物の上に、ウートップハイムシールド ルーフを重ね、専用テープ ユラソール サーモHTで密着させます。